

2016年5月

NPO法人 学習塾全国連合協議会 東日本ブロック

NPO 塾全協

塾全協東通信



題字：伶齋（白川亮 進ゼミ柏）

古代日本史考(1)

——狗奴国——

東日本ブロック理事長 沼田広慶

昨年3月、九州を女房と旅行した時、電車の中で地図を広げていたところ、何気なく菊池という地名が目に入った。菊池川というのもある。この日は熊本城と西南の役の激戦地田原坂が目的だったが、この地名を見てなんとなく気にかかるものがあった。その夜、旅館でくつろぎながらも一度地図を見て、はっと気がついた。魏志倭人伝である。「その南に狗奴国あり、男子を王となす。その官に狗古智卑狗があり。女王国に属せず。」ここにある狗古智卑狗は呉音で読むとククチヒクとなる。キクチとククチ。なんか似ているなあ、と思ったのである。もしかして、この辺りが狗奴国だったのではないか。歴史学者や考古学者が聞いたら、笑止千万と大笑いして終わるだろうと思いきや、去年の秋、私が所属している全国歴史研究会の研修会で驚くような話を聞いた。

民間の研究者ではあるが、立派な本も出している古代史研究家菊池秀夫氏が同じようなことを言ったのである。菊池という名前も気になるが、それはさておき、氏の説によると、ククチという名前もさることながら、この辺り一帯に鉄器が多く出土することや遺跡の関係から阿蘇山の北側に広がる阿蘇谷周辺が狗奴国の中心であり、菊池川流域こそは対立していた邪馬台国との最前線地域であったというのだ。

鉄については鉄鉱石の話から製鉄技術の話に及び、専門的でとても私にはついていけなかったが、ククチという名前のは何と理解できた。この菊池川流域には菊池市があるが、ここは10世紀頃まではククチと呼ばれており、7世紀頃までは鞠智という字が使用されていた。さらに9世紀頃までこの地域には鞠智城が存在していたことが文献により確認されるという。昭和になってからの発掘調査でその存在が証明されている。おそらくククチという人の名がそのまま地名として残ったのであろうと彼は話した。

となると、今度は邪馬台国である。箸墓古墳の築造年代を根拠に畿内説が有力となってきているが、狗奴国がここだとすると、邪馬台国はどうしても筑紫平野のどこかということになってしまう。北九州説からの反撃である。さあ、面白くなってきた。

そもそも魏志倭人伝の記述は昔から気にかかるところが多々ある。例えば、「南、投馬国に至る水行 20 日。」「南、邪馬台国に至る、女王の都する所、水行 10 日陸行 1 月。」とあるが、20 とか 10 とか 1 月とか、数字がきれい過ぎる。四捨五入でもしないかぎり、こうはいかないのではないか。あるいは支配地域を大きく見せたくて適当にさばを読んだのではないか。ありそうなことである。

また、畿内のヤマトにあったとすれば、瀬戸内海を通ったか、日本海側を通ったかしたのであろうが、北九州の狭い地域だけでもこれだけ細かく国名を記述しているのだから、もっと多くのことを記述できたはずである。それが無いのは不思議というか、いい加減さを感じる。南を東と間違えているという説もあるが、方位は軍略上の重要な基礎知識であるからして間違えるはずはなかろう。

ただし、畿内ヤマト王権を成立させた勢力が何者なのかは別の話だ。神武東遷が何を意味するのかは未だ不明である。北九州あるいは南九州の勢力が東遷したとすると、邪馬台国や狗奴国との関係はどうなるのか。邪馬台国を滅ぼした狗奴国が東遷したと菊池氏は言うが、真相はわからない。考古学的な証拠はまだ出ていないのだ。東遷そのものが全くのフィクションという説もないわけではない。最近では九州、出雲、畿内、吉備、それに尾張などいくつかの勢力が連合して大和王権を誕生させたという説が有力である。また、大陸との交流ルートを出雲と吉備が奪い合い、吉備が勝って、瀬戸内海ルートを支配したという説もある。神武と崇神は同一人物とする説もあるかと思えば、応神はクーデターによって政権を奪取したとする説もある。また、継体は応神とは全く別系統の人物であり、継体こそが現代の皇室につながっているとも言われている。

古代日本史の謎は尽きない。

第 1 部 中高入試を考える会

【日時】 平成 28 年 5 月 29 日 (日) 15:00~17:00

【会場】 アットビジネスセンター東京駅 3 階 302 号室

(JR 東京駅八重洲口より徒歩 6 分、東京メトロ京橋駅・日本橋駅より徒歩 5 分)

【参加費】 4,000 円 (会員の方は無料)

【講演者】

「首都圏中学入試について」 森上 展安 氏 (森上教育研究所)

「東京都高校入試について」 穴澤 嘉彦 氏 (新教育研究協会)

「千葉県高校入試について」 五十嵐裕明 氏 (進学研究会)

「埼玉県高校入試について」 岩佐 桂一 氏 (岩佐教育研究所)

第 2 部 私学と私塾の新年度情報交換会

【日時】 平成 28 年 5 月 29 日 (日) 17:30~19:30

【会場】 アットビジネスセンター東京駅 2 階 206 号

【参加費】 8,000 円

・共有できる有益な場となるよう、準備を進めて参ります。

ご多用中とは存じますが、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

NPO 塾全協東西ブロック合同 現地研修会 「江戸城跡（皇居東御苑）を歩く」 レポート

日時：2016年4月10日 13:00～16:00

場所：東西線九段下駅集合～東京駅解散

解説とガイド：NPO 塾全協東日本ブロック理事長 沼田広慶（北辰館スクール）

文と写真：NPO 塾全協全国事務局長・東日本ブロック広報局長 中村基和（むさし野ゼミナール）

参加者数：7名（二次会、三次会であと3名）



まずは地下鉄東西線九段下駅靖国神社方面出口に集合。今回は当初11名の申込があったのですが、残念ながら急用や体調不良などで4名のキャンセルがあり7名の参加となりましたが、西日本ブロックの先生やそのお嬢さんの参加もありましたし、久しぶりにお会いした先生もいらして楽しい遠足というような気分でスタートしました。

コースは以下のとおりです。



築土（つくど）神社～田安門～北の丸公園～北桔橋門～天守台～大奥跡～汐見坂～旧本丸～富士見多聞～松の廊下跡～富士見櫓～本丸休憩所～本丸入口～百人番所～二の丸庭園～大手休憩所～三の丸尚蔵館～大手門～将門塚～東京駅

最初は築土神社（写真左）。アマツヒコホノニギノミコトを主神とし、平将門と菅原道真を祀っているそうです。沼田先生は前の晩、高校時

代以来の「一夜づけ」をして、解説の内容を暗記したそうですが、いやはやバッチリ。恐れ入りました。

武道館、北の丸公園（写真右）を通過して、天守台。かつてはあった天守閣は1657年の明暦の大火で消失し、その後再建されることがありませんでした。



天守台のあとは松の廊下跡や大奥のあった場所の見学。両方とも現在は道や草地になっていてかつてはどうであったかちょっと想像が付きませんでした。



本丸休憩所で一休みしたあと本丸入り口から 3 つの「番所」の見学。特に百人番所は伊賀や甲賀などの 4 つの忍者集団が各 25 人ずつ暮らして、今でいうテロリストやスパイが入ってこないかどうかを監視する場所だったそうです。

大手門を出てから 5 分位歩いたあと、最後の見

学はかの有名な将門の首塚。京都でさらされた将門の首がこの地まで飛んできたという伝説があり、戦後 GHQ がこの首塚を撤去しようとしたら不可解な事故が次々に起き、マッカーサーが撤去を断念したという話は有名です。現在も周りのオフィスビルの室内の配置はここに背を向けないようにしているとの話もあります。



このあとは東京駅で解散となりましたが、そのあと二次会、三次会と続きました。

一般に研修会というと経営研修や教育学的なもの、教科教育的なものが多いのですが、今回は塾長のための教養講座。西日本ブロックでは古代史に関する研修会を 2 回していて、今回のガイド役の沼田先生もその刺激を受けた様です。塾の先生は雑学が必要と言われておられましたが、本当にそのとおり。来年もこのような企画が出来ることを願っています。

NPO 塾全協東日本ブロック 今後の主な予定(2016 年度)

5 月 29 日 (日) 塾全協全国総会・東日本ブロック総会

中高入試を考える会・私学と私塾の新年度情報交換会

9 月 19 日 (日) 東京 進学相談会

9 月 22 日 (祝) 千葉 進学相談会

編集 NPO 塾全協東日本ブロック 事務局長 中山和行

〒350-0322 埼玉県比企郡鳩山町今宿229番地

TEL 049-296-1111 FAX 049-296-1111 E-mail gyqbt650@ybb.ne.jp

NPO 塾全協東日本ブロックHP <http://www.jzk-east.com>